

平成25年度 事務事業評価調査 [ソフト事業]

事務事業コード 51113001

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名 婦人研修の家管理事業

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	1	生涯学習活動の促進
主要な施策	3	③生涯学習情報の提供と充実
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 52 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	婦人の生活文化や教養の向上を図るとともに、地域における婦人間の連携を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婦人研修の家：8箇所（栄、新川、常盤、若草、カルルス、美園、桜木、柏木各町内） ・ 市民が施設を快適に利用できるよう、計画的に施設の補修などを行う。 ・ 平成18年度から指定管理者制度により各町内会に管理を委託している。 <p>【平成24年度実施補修整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美園婦人研修の家 防災カーペット補修整備 ・ 柏木婦人研修の家 大広間補修整備 ・ 若草婦人研修の家 外壁補修整備
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	「婦人研修」の為の施設として設置されているが、現状では町内会の親睦・交流施設としての側面が強く、設置目的の意味合いが変化してきている。今後は地域のコミュニティ施設として、他部署と調整しながら見直しを進めていきたい。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市婦人研修の家設置条例、登別市婦人研修の家設置条例施行規則

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	1,926	4,165	2,972	1,856	1,856
事業費 合計			1,926	4,165	2,972	1,856	1,856

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 婦人研修の家利用者	人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	18,401	16,731			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>婦人の生活文化や教養の向上を図り、地域における婦人間の連携を図ることを目的に設置されたが、現状では町内会などの集会施設としての利用が主体である。</p>	<p>町内会の交流や地域づくりの場等として利用されており、婦人研修施設としての立場から新たな公共施設としての利用になっている。 平成18年度より町内会による指定管理施設となり、効率的な利用が行われており、それを支援していく。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 平成18年度より指定管理者制度により町内会へ管理委託しているが、各施設とも老朽化が著しいことから計画的な改修を進めている。管理委託や施設本体の維持補修は市の責任において実施するのが妥当である。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 平成21年度の事業仕分けで研修施設としての位置づけに疑問は出ているが、町内会などの集会施設としての利用が多いことから、管理委託や施設本体の維持補修は必要である。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 各施設とも老朽化が著しいため、年度ごとの計画的な維持補修はやむを得ない。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 町内会へ指定管理者制度により管理委託していることにより、地域コミュニティ施設として利便性が高まり、地域住民の福祉の向上に寄与することができた。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 婦人の研修を目的に使用されることはほぼ無くなってきているが、町内会の親睦・交流の公共施設として利用されている。設置目的の変化に伴い、公共施設としての立場を関連部署などと調整する必要が出てきているが、地域づくりの拠点としては今後も維持していく必要がある。
-----------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----